

第3章 これまでの取組状況

3-1 前計画の方針と施策

- ◆平成26年度に策定した水俣市地域公共交通網形成計画では、水俣市全域を対象として平成27年～31年度までの方針及び目標値を示しています。
- ◆“利用したくなる”公共交通の構築を基本方針に本市が目指すまちづくりの将来像の実現に向けて以下の5つの方針を設定しました。

<基本方針>

「環境モデル都市みなまた」ならではの“利用したくなる”公共交通の構築

<計画方針>

方針1 市民の満足度向上に向けた公共交通サービスの強化

- 施策1：市民の外出に合わせた運行ルート・ダイヤ等の見直し
- 施策2：新水俣駅－市街地間のアクセス向上
- 施策3：市内における自転車の利用環境の維持・強化

方針2 来訪者に使い勝手がよい市内の周遊環境の整備

- 施策1：新水俣駅－市街地間のアクセス向上（再掲）
- 施策2：新水俣駅・市役所・水俣駅における乗り継ぎ機能・情報提供の強化
- 施策3：「1,000円得タクシー」実証実験終了後の継続

方針3 市民と共に守り育てる公共交通の仕組みづくり

- 施策1：市民・学校・事業者等を対象としたモビリティマネジメントの実施
- 施策2：公共交通の愛着向上に向けた情報発信・利用促進の強化
- 施策3：市民との協働による利用しやすい環境改善および維持
- 施策4：運転免許の返納者を対象とした公共交通のサポート企画

方針4 環境配慮・持続性向上に向けた公共交通の運行改善

- 施策1：環境配慮型の誰もが利用しやすいバス車両の導入
- 施策2：環境負荷・財政支援の軽減に向けた運行効率の改善
- 施策3：運行ルート上の課題箇所の解消

方針5 市民の外出を促進するための公共交通の連携企画

- 施策1：イベント活用、地域との協力による公共交通の利用促進

<達成状況の指標>

現状確認の一貫として、方針の目標ごとに達
成状況を検証し、達成度を右の指標で評価を
行い、今後の課題を明確にします。

達成度：○：達成できた

達成度：△：取り組んだが達成できなかった

達成度：×：取組に至らず達成できなかった

3-2 目標達成状況の検証

方針1 市民の満足度向上に向けた公共交通サービスの強化

目標1 水俣市民の公共交通利用の促進

（内容）本計画（H26）の調査結果や市民から寄せられる要望意見等を踏まえ、バス停の設置位置や新水俣駅へのアクセス向上、外出したい施設へのニーズを再検証など、運行サービスの見直しによる利用者の減少割合抑制に取り組み、路線の持続性向上を目指します。また、水俣市内を運行する民間路線バスも対象として利用促進を図っていきます。ただし、民間路線バスは水俣市外で運行する区間が大部分を占めることを考慮し、水俣市内で完結する路線（みなくるバス・乗合タクシー）の利用者数をモニタリングの指標とします。

達成度：△

指標	平成26年度	-3.0%/年 以下に抑制 ⇒	目標値	実績値
			平成31年度 約105,000人	平成31年度 104,767人
みなくるバス・乗合 タクシー利用者数	122,174人			

未達成

達成状況

▶平成31年度のみなくるバス・乗合タクシーの年間利用者数は、104,767人となり、目標値約105,000人まであと僅かでした。

取組み内容

- 市民のニーズに合わせた乗り場の新設などを行いました。
- 新水俣駅へのアクセス向上を図るためにH28年4月に市街地と新水俣駅間を結ぶさくらバス（市街地循環線）を導入しました。
- 民間路線バス（みなくるバス）を対象とした乗り方教室は行われていますが、乗合タクシーを対象とした利用促進は実施できませんでした。



↳ H28.4～さくらバス運行開始

図 みなくるバス・乗合タクシーの年間利用者数

出典：年間実績資料(H30.10～R1.9)

目標2 自転車利用の促進

(内容) これまで市内主要箇所に整備を進めてきた自転車市民共同利用システムの継続的な維持、情報発信に努めながら、中心部や観光拠点における移動手段として自転車利用を促進します。

達成度：○

指標	平成24年度	50人/年 増加⇒	目標値	実績値
			平成31年度	平成31年度
自転車市民共同利用システムの登録者数	714人		1,064人	1,139人

※水俣市環境モデル都市第二期行動計画と同一の目標値

達成

達成状況 ▶平成31年度の自転車市民共同利用システムの登録者数は、1,139人となり目標値の1,064人を上回りました。(令和元年9月時点)

取組み内容 ○自転車市民共同利用システムの設置箇所を増やし、R1.9時点で市内4箇所に設置を行っており、自転車市民共同利用システム登録者数は増加傾向にあります。

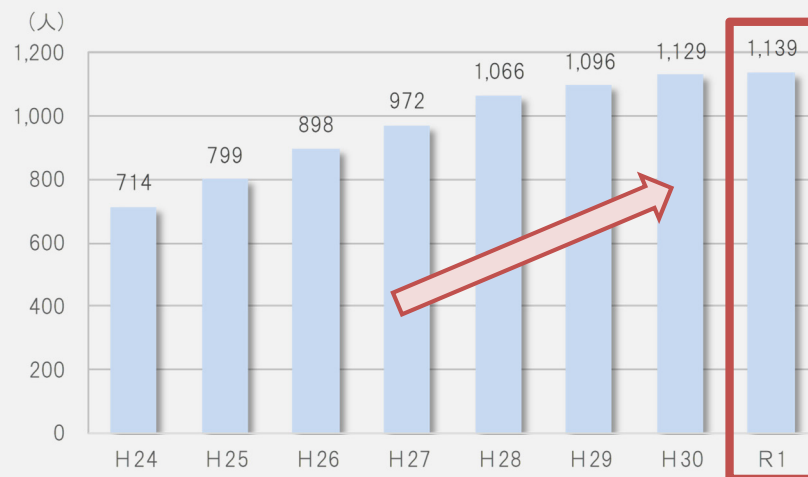


図 自転車市民共同利用システム登録者数の推移 (R1.9時点)



図 自転車市民共同利用システムの設置位置 (R1.9時点)

方針2 来訪者にとって使い勝手がよい市内の周遊環境の整備

目標1 来訪者の公共交通による観光アクセスの強化・維持

(内容) 来訪者が利用しやすい公共交通サービスの見直し及び利用促進を行うとともに、実証実験中である観光タクシー事業の維持に取り組み、来訪者が市内を周遊しやすい環境の維持を図っていきます。

達成度：△

指標	平成26年度	向上 ⇒	目標値	実績値
			平成31年度	平成31年度
新水俣駅・水俣駅での公共交通の利用割合	4.1%		14%以上	3.7%

※来訪拠点による聞き取り調査から把握（対象：レンタサイクル、路線バス、みなくるバス）

未達成

達成状況 ▶新水俣駅・水俣駅における公共交通の利用割合は、3.7%となり、目標値の14%以上に達しませんでした。

取組み内容 ○来訪者ニーズに合わせた運行サービスの見直しとして公共交通の利用啓発ポスターなどの作成が計画されましたが、実施には至りませんでした。
○乗り継ぎ強化としてバス停時刻表の更新や水俣駅構内に案内看板の設置を行いました。

指標	平成26年度	⇒	平成31年度
新水俣駅・水俣駅での公共交通の利用割合	18.1%		14.8%

※対象を路線バス、みなくるバス、レンタサイクル、タクシーとした場合

出典：来訪拠点におけるヒアリング調査結果

達成度：△

指標	平成26年度	維持 ⇒	目標値	実績値
			平成31年度	平成31年度
1,000円得タクシーの利用者	1,300件 (約2,470人)		1,300件 (約2,470人)	—

※平成26年度4月～12月の実績値から年間利用者数を推定

※目標年度において代替手段に変更されている場合は、代替手段の利用者数で評価

未達成

達成状況 ▶H25～27年で実証運行し、H28年の震災後観光客増加策として再開しましたが利用が少なく、H29年4月以降は継続できませんでした。

取組み内容 ○H28年の熊本地震発生後、水俣市でも観光客の減少がみられたため、経済観光課が観光客増加策の一つとして、みなまた観光物産協会に委託して観光客の維持に取り組みました。しかし、H29年の利用があまりみられず運行の継続には至っていません。

H26	H27	H28	H29	H30	H31
実証運行		震災	再開	運行なし	

方針3 市民と共に守り育てる公共交通の仕組みづくり

目標1 公共交通の維持および利用促進に向けた市民意識の醸成

(内容) 市民の公共交通への愛着を育てる取組を進めながら、市民ひとり一人の自発的な公共交通利用を促し、「市民と共に公共交通を守り育てていく」という機運を高めていきます。

達成度：○

指標	平成26年度		目標値	実績値
			平成31年度	平成31年度
モビリティマネジメントの取組み数	1回/年	向上 ⇒	4回/年	7回/年

※平成26年時は水俣市環境モデル都市エコフェスタのバス体験イベント

達成

達成状況 ▶モビリティマネジメントを計7回実施し、目標値を上回りました。

取組み内容 ○公共交通利用の啓発として、R1年に園児を対象としたバスの乗り方教室を計7回実施しており、定期的なモビリティマネジメントを実施しました。

表 乗り方教室の実施箇所

No.	園名	参加人数	大人	園児
1	ちどり保育園	29	5	24
2	中央保育園西方寺認定こども園	22	2	20
3	すずかけ保育園	31	4	27
4	水俣さくら保育園	19	3	16
5	はつの・あそびの森こども園	17	3	14
6	わかたけ保育園	17	3	14
7	さわらびこども園	17	4	13

達成度：○

指標	平成26年度		目標値	実績値
			平成31年度	平成31年度
市民主体による公共交通の維持活動	2地区	向上 ⇒	6地区	8地区

※平成26年時は湯の尻地区、湯出地区

達成

達成状況 ▶市民主体による公共交通の維持活動を8地区で実施しています。

取組み内容 ○バスや乗合タクシーが運行している路線の草刈りや防草対策を市民の方が主体となって公共交通の維持に取り組んでいます。

表 市民主体の維持活動

No.	実施主体	該当路線	
1	24区自治会	みなくるバス	大川線
2	25区自治会	乗合タクシー	寺床線
3	14区自治会	みなくるバス	大川・中屋敷・葛彩館線
4	16区自治会	みなくるバス	木臼野(茂川)・梅戸港線
5	11区自治会	みなくるバス	中屋敷線
6	10区自治会	みなくるバス	中屋敷線
7	8区小野川内組	乗合タクシー	小津奈木線
8	18区認可地縁団体 月浦自治会	みなくるバス	茂道～頭石・招川内線

方針4 環境配慮・持続性向上に向けた公共交通の運行改善

目標1 運行効率化による公共交通の持続性向上

(内容) 利用率が低い路線等の運行効率の改善、車両の維持などを定期的の実施しながら、将来にわたって持続可能な公共交通体系の構築を目指します。

達成度：△

指標	平成26年度	改善 ⇒	目標値	実績値
			平成31年度 現況値以下に 抑制	平成31年度
利用者1人当たりの 公的資金投入額	バス交通 768円 乗合タクシー 11,176円			バス交通 881円 乗合タクシー 56,589円

※平成26年時は平成25年10月～平成26年9月の利用者数及び運行経費から算出

未達成

達成状況 ▶バス交通 881円、乗合タクシー56,589円となり、現況値以下に抑制できませんでした。

取組み内容 ○運行の効率化を図るための仕組みづくりとして、路線等の廃止・見直し基準を策定しましたが運用には至っていません。
○H28年にみなくるバス車両の改善として、液晶モニタの新規設置、カーテン、荷物かけの設置、座席の張替えや車両の入替などを実施しています。
○現況値以下に抑制できなかった原因は、乗合タクシーの一部路線で著しく利用が低迷しており、予約制や廃止・見直し基準の通知・運用など、今後の運行について検討が必要です。

表 バス・乗合タクシーの収支状況（H30.10～R1.9）

運行路線			年間輸送実績		経常費用		
No.	分類	運行 系統名	輸送 人員 (人)	運送収入 (千円)	経常費用 (千円)	経常 欠損額 (千円)	一人あたり 補助額
1	みなくるバス	木臼野（茂川）・梅戸港線	8,094	806	6,631	-5,825	720円
2	みなくるバス	木臼野（茂川）・梅戸港線	4,160	421	4,334	-3,913	941円
3	みなくるバス	大川線	13,329	1,793	16,677	-14,884	1,117円
4	みなくるバス	中屋敷線	6,605	889	8,290	-7,401	1,121円
5	みなくるバス	葛彩館線	4,104	554	5,216	-4,662	1,136円
6	みなくるバス	湯の尻線	15,477	1,545	6,501	-4,956	320円
7	みなくるバス	茂道～頭石・招川内線（頭石発）	11,002	1,135	9,085	-7,950	723円
8	みなくるバス	茂道～頭石・招川内線	25,050	2,511	12,279	-9,768	390円
9	みなくるバス	茂道～頭石・招川内線（頭石経由）	6,381	644	3,702	-3,057	479円
10	みなくるバス	市街地循環線	7,566	839	6,248	-5,408	715円
11	産交バス	水俣産交～道の駅たのうら	22,188	5,339	28,646	-23,306	1,050円
12	産交バス	道の駅たのうら～水俣産交	22,834	6,285	31,816	-25,531	1,118円
13	産交バス	水俣産交～つなぎ温泉前	5,839	1,147	5,783	-4,637	794円
14	産交バス	水俣港～つなぎ温泉前	2,649	538	3,195	-2,657	1,003円
15	南国交通	佐潟口・水俣車庫線	64,308	21,618	69,757	-48,139	749円
16	南国交通	鹿児島連絡空港バス	24,674	11,111	53,566	-42,455	1,721円
			244,260	57,176	271,726	-214,550	881円

No.	分類	運行 系統名	輸送 人員 (人)	運送収入 (千円)	経常費用 (千円)	経常 欠損額 (千円)	一人あたり 補助額
17	乗合タクシー	猿郷線	2,729	409	4,612	-4,203	1,540円
18	乗合タクシー	大迫・牧ノ内線	32	10	653	-643	20,093円
19	乗合タクシー	市木線	160	79	1,037	-957	5,983円
20	乗合タクシー	寺床・寒川線	361	181	1,494	-1,313	3,637円
21	乗合タクシー	小津奈木線	25	8	842	-834	33,378円
22	乗合タクシー	鬼岳線	141	42	955	-913	6,473円
23	乗合タクシー	坂口・八ノ窪線	22	7	675	-669	30,391円
24	乗合タクシー	神川・湯堂線	2	1	703	-702	351,220円
			3,472	736,150	10,970,350	-10,234	56,589円

利用が低迷

方針5 市民の外出を促進するための公共交通の連携企画

目標1 イベント・地域行事等の参加を促す公共交通サービスの提供

(内容) イベントや地区行事に合わせた公共交通の利用企画など、市民（特に高齢者）の外出を促していく取組を進めながら、公共交通利用の動機付け、利用促進を図ります。

達成度：○

指標	平成26年度	改善 ⇒	平成31年度	平成31年度
イベント等に対応した 公共交通サービスの 情報発信数	—		4回/年 ※四半期に1回	4回/年

達成

達成状況 ▶ イベント等に対応した公共交通サービスの情報発信を年4回行いました。

取組み内容 ○現状は、4件のイベント（春と秋のローズフェスタ、お宝鑑定団、NHKのど自慢）でバスによるアクセス情報を掲載しており、公共交通利用の動機付け、利用促進を図れています。



図 イベントにおける公共交通情報の発信（ローズフェスタ）

公共交通の 利用案内

その他 環境負荷低減に向けた目標

(内容) 水俣市環境モデル都市第二期行動計画(H26.4)には、「環境にやさしい多様な交通体系の整備」が目標の一つに挙げられており、公共交通の利用促進による環境負荷低減を以下のように設定します。

達成度：○	目標値	算出値
指標	平成31年度	平成31年度
CO2排出量の削減量	105.6t-CO2	156.5t-CO2

達成

達成状況 ▶CO2排出削減量は156.5t-CO2となり、目標値を上回りました。

○市民の自家用車から公共交通への利用転換

(削減量の算出)

- ・R1市民アンケートの調査結果から、公共交通の必要性が高いと考えられる高齢者の65.2%が運転免許を保有しており、そのうち33.2%は5年以内、時期は未定だが免許返納の考えがあるとの考えを持っている。

⇒利用転換人数=9,456人(R1住民基本台帳)×65.2%×8.3%=511人

- ・5年以内に免許返納の意思を持つ高齢者の居住地区は、市街地区34.1%、東部地区9.1%、南部地区22.7%、久木野地区9.1%、長崎地区18.2%、湯出地区6.8%(R1市民アンケート結果)

- ・外出1回の移動距離は、市街地区1.5km、東部地区8.5km、南部地区6.1km、久木野地区15.5km、長崎地区5.0km、湯出地区9.2kmと設定

- ・外出頻度は「週3日」が多いため週3日を設定(R1市民アンケート結果)

《CO2の排出削減量》

市街地区：511人×34.1%×1.5km×2×156日×119g-CO2=9.7t-CO2

東部地区：511人×9.1%×8.5km×2×156日×119g-CO2=14.7t-CO2

南部地区：511人×22.7%×6.1km×2×156日×119g-CO2=26.3t-CO2

久木野地区：511人×9.1%×15.5km×2×156日×119g-CO2=26.8t-CO2

長崎地区：511人×18.2%×5.0km×2×156日×119g-CO2=17.3t-CO2

湯出地区：511人×6.8%×9.2km×2×156日×119g-CO2=11.7t-CO2

計 106.5t-CO2

○来訪者のマイカー利用の低減(自家用車を利用する来訪者の10%を公共交通へ転換)

(削減量の算出)

- ・来訪拠点における聞き取り調査では、「自動車・レンタカー」「家族・知人の送迎」を水俣市内の交通手段としている来訪者は63.6%

- ・新水俣駅の年間利用者数(推定)1,000人/日×365日=365,000人

- ・来訪者の観光アクセス 湯の児27.3%(6.4km) 湯の鶴4.7%(10.5km)
市街地68.8%(5.1km ※エコパーク水俣)

《CO2の排出削減量》

湯の児：36,500人×27.3%×6.4km×2×119g-CO2=15.2t-CO2

湯の鶴：36,500人×4.7%×10.5km×2×119g-CO2=4.3t-CO2

市街地：36,500人×68.8%×5.1km×2×119g-CO2=30.5t-CO2

計 50.0t-CO2

(参考) 達成状況の一覧表

◆平成26年度に策定した水俣市地域公共交通網形成計画の計画目標に対する達成状況を以下の表に整理します。

表 達成状況の一覧表

方針	目標	指標	現況値及び目標値	実績値・達成状況
方針1	1.水俣市民の公共交通利用の促進	みなくるバス・乗合タクシー利用者数	現況値(H26): 122,174人 ↓ 目標値(H31): 約105,000人	実績値: 104,767人 未達成
	2.自転車利用の促進	自転車市民共同利用システムの登録者数	現況値(H24): 714人 ↓ 目標値(H31): 1,064人	実績値: 1,139人 達成
方針2	1.来訪者の公共交通による観光アクセスの強化・維持	新水俣駅・水俣駅における公共交通の利用割合	現況値(H26): 4.1% ↓ 目標値(H31): 14.1%	実績値: 3.7% 未達成
		1,000円得タクシーの利用者数	現況値(H26): 1,300件(2,470人) ↓ 目標値(H31): 1,300件(2,470人)	実績値: 一件 未達成
方針3	1.公共交通の維持及び利用促進に向けた市民意識の醸成	モビリティマネジメントの取組数	現況値(H26): 1回/年 ↓ 目標値(H31): 4回/年	実績値: 7回/年 達成
		市民主体による公共交通の維持活動	現況値(H26): 2地区 ↓ 目標値(H31): 6地区	実績値: 8地区 達成
方針4	1.運行効率化による公共交通の持続性向上	利用者1人当たりの公的資金投入額	現況値(H26): バス交通 768円 乗合タクシー 11,176円 ↓ 目標値(H31): 現況値以下に抑制	実績値: バス交通881円 乗合タクシー56,589円 未達成
方針5	1.イベント・地域行事等の参加を促す公共交通サービスの提供	イベント等に対応した公共交通サービスの情報発信数	現況値(H26): — ↓ 目標値(H31): 4回/年	実績値: 4回/年 達成